（参考）大雨による災害の留意事項①

大雨が降ると…

一瞬にして多くの人命や財産を奪ってしまう
土砂災害が発生！

崖崩れや土石流の発生を確認してから避難することはできない。

広島市の土石流による被害の様子
（平成26年8月20日気象庁撮影）

平成26年8月豪雨では、広島県広島市で土石流が発生し、人的被害をもたらした。

中小河川は**水位が急激に上昇！**

中小河川は、大雨が降ると短時間のうちに急激な水位上昇が起こりやすい。

福岡県朝倉市を流れる北川の様子
（出典：国土地理院ホームページ）

平成29年7月九州北部豪雨では、福岡県朝倉市の赤谷川、北川等で水位が短時間で上昇して氾濫が発生し、人的被害をもたらした。

大河川は**広範囲・長時間浸水！**

大河川で水が堤防を越えたり堤防が決壊したりすると、広範囲が長時間浸水するなど大きな被害となる。

茨城県常総市の浸水被害
（資料：国土交通省関東地方整備局）

平成27年9月関東・東北豪雨では、鬼怒川の氾濫で茨城県常総市の約3分の1の面積が浸水し、浸水が概ね解消するまでに10日を要した。

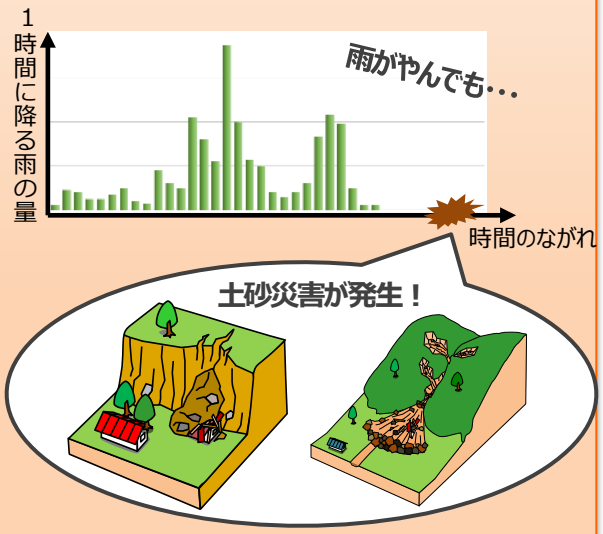
ハザードマップを参考に、
「キキクル」や「レベル○○警報等」を活用し、
安全に避難できる早い段階で避難開始を判断することが重要！

（参考）大雨による災害の留意事項②

大雨がやんでも…

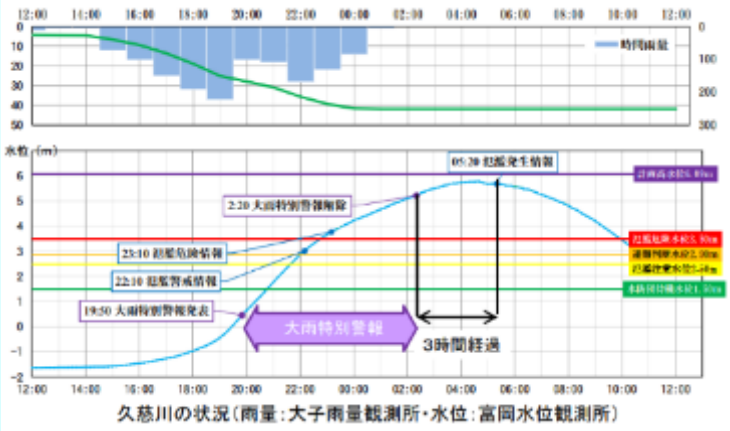
土砂災害の危険が継続！

雨が弱まったりやんだりしても、それまでに降った大雨により地盤が緩んだ状態が続き、土砂災害が発生することがある。



油断禁物！大河川は時間差で増水

大河川は上流の雨により下流で遅れて増水する。このため、大雨が止んだ後であっても、水位が上昇し氾濫することがある。



（出展：「第1回気候変動を踏まえた水災害対策検討小委員会」資料に加筆）

令和元年東日本台風では、吉田川、阿武隈川、石田川、蛇尾川、都幾川、越辺川、久慈川、千曲川の７河川で大雨特別警報解除後に氾濫発生情報を発表している。

避難先から家に帰る前に

「自治体の避難情報」や「防災気象情報」を確認することが大切！

危険な状況ではなくなったことを確認してから家に帰りましょう。

（参考）5段階の警戒レベルと防災気象情報

5段階の警戒レベルと防災気象情報

気象状況	気象庁等の情報		市町村の対応	住民がとるべき行動	警戒レベル
	キキクル	河川氾濫、大雨、土砂災害、高潮			
災害の切迫・発生	災害切迫	レベル５特別警報（警戒レベル５相当情報）	緊急安全確保 ※必ず発令される情報ではない	命の危険　直ちに安全確保！ ・すでに安全な避難ができず、命が危険な状況。いまいる場所よりも安全な場所へ直ちに ・移動等する。	5
			＜警戒レベル４までに必ず避難！＞		
2時間～0時間程度前	危険	レベル４危険警報（警戒レベル４相当情報）	避難指示 第４次防災体制（災害対策本部設置）	危険な場所から全員避難 ・台風などにより暴風が予想される場合は、暴風が吹き始める前に避難を完了しておく。	4
数時間～3時間程度前	警戒	レベル３警報（警戒レベル３相当情報）	高齢者等避難 第３次防災体制（避難指示の発令を判断できる体制）	危険な場所から高齢者等は避難 ・高齢者等以外の人も必要に応じ、普段の行動を見合わせ始めたり、避難の準備をしたり、自主的に避難する。	3
半日～数時間前	注意	レベル２注意報（警戒レベル２）	第２次防災体制（高齢者等避難の発令を判断できる体制） 第１次防災体制（連絡要員を配置）	自らの避難行動を確認 ・ハザードマップ等により、自宅等の災害リスクを再確認するとともに、避難情報の把握手段を再確認するなど。	2
数日～約１日前		早期注意情報（警戒レベル１）	・心構えを一段高める ・職員の連絡体制を確認	災害への心構えを高める	1

市町村は、防災気象情報などを参考に避難情報を発令

「避難情報に関するガイドライン」（内閣府）に基づき気象庁において作成

ハザードマップで災害リスクを確認！！

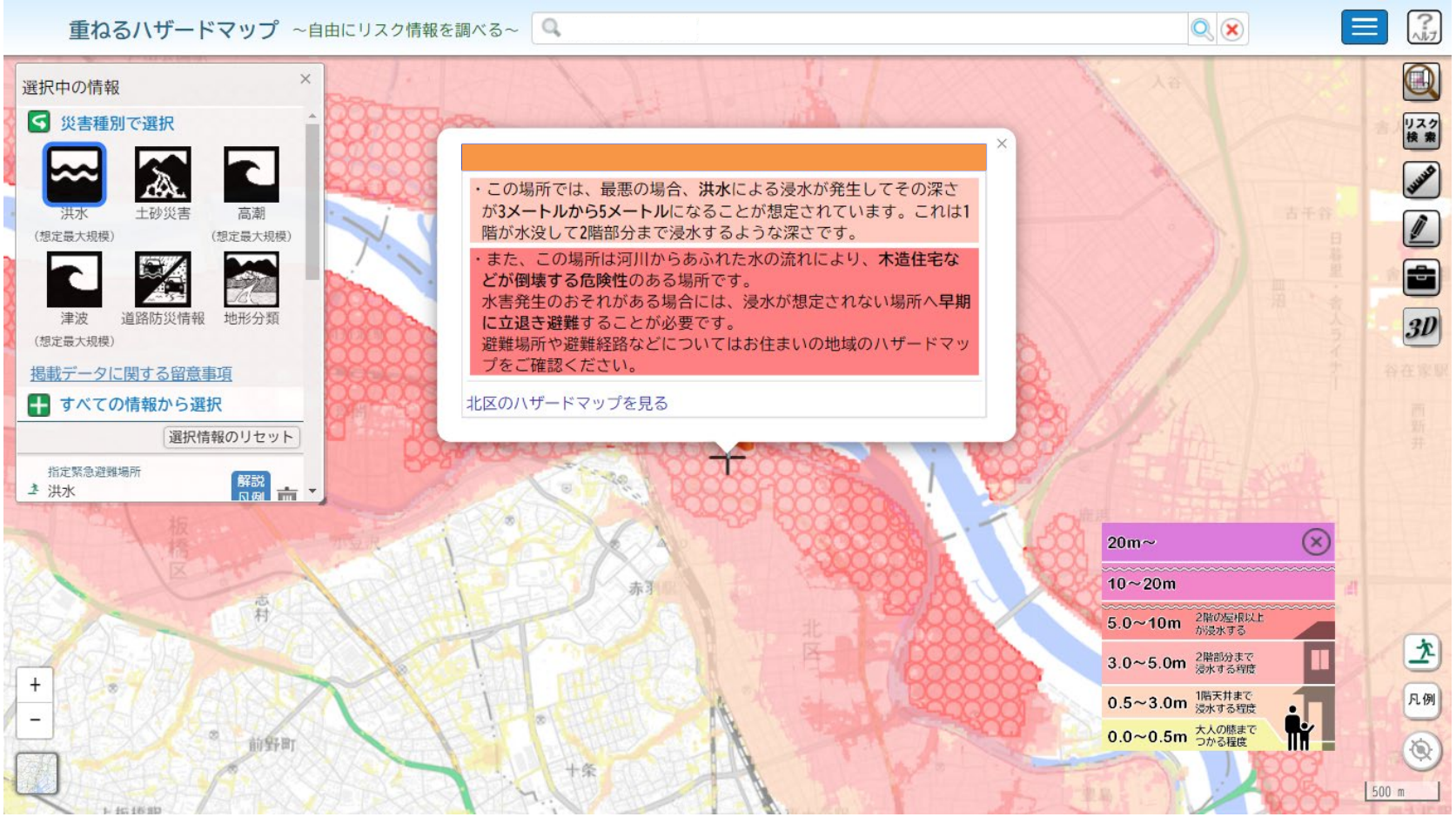
1 「ハザードマップ」で検索

2 ハザードマップポータルサイトで

ハザードマップで災害リスクを確認！！

3 地図上に文章でリスクや取るべき行動が表示されます

- 最大浸水深は何m？
- 床上浸水？2階まで浸水？
- 土砂災害の危険性は？
- 命を守るための行動は？

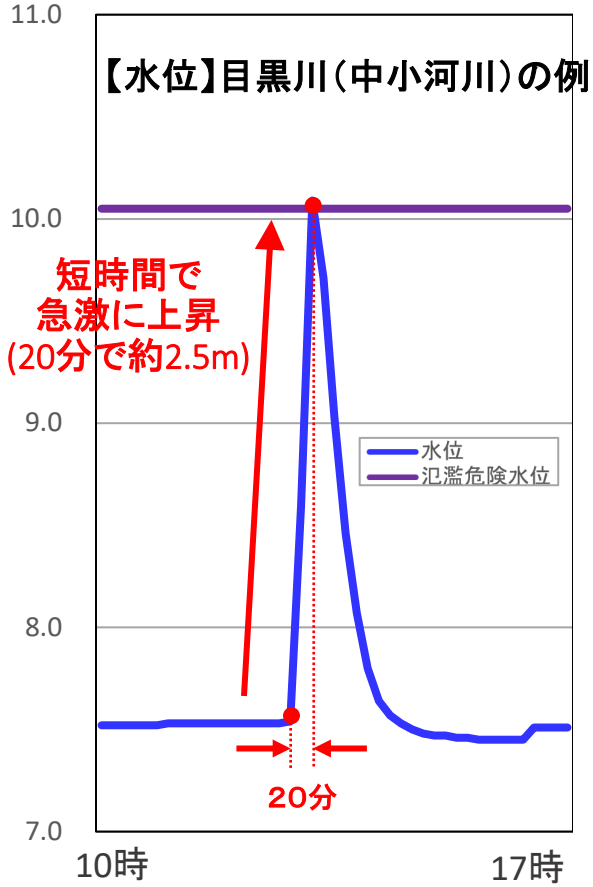


河川特性に応じた避難行動を！

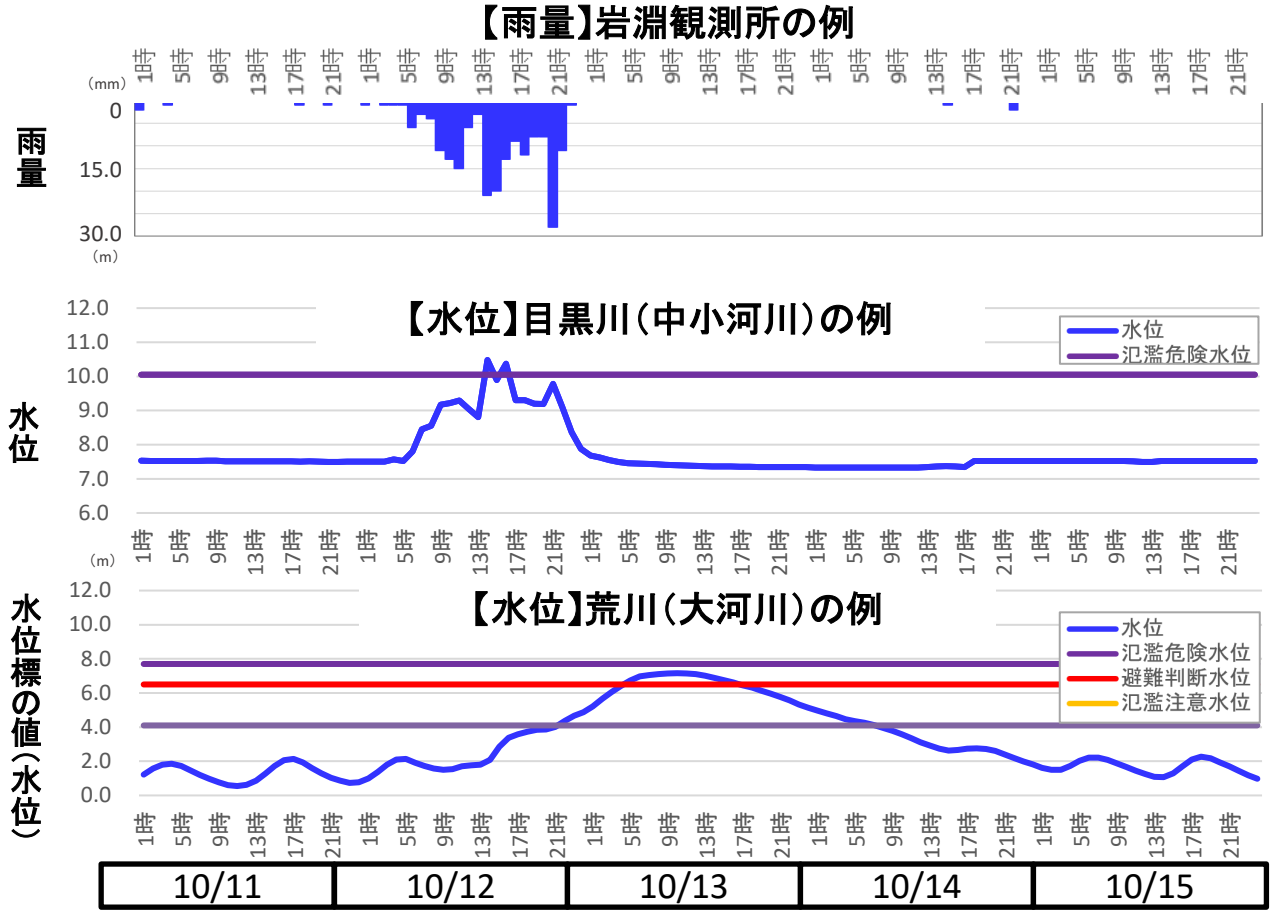
○**中小河川**では大雨が降ると、短時間で**急激に水位が上昇**するため、
水位の上昇を待つことなく**早めの避難行動**をお願いします。

○**大河川**では水位上昇は緩やかですが、**広範囲で大規模な浸水被害**等が発生する恐れがあるため、水位情報を確認のうえ、**早めの避難行動**をお願いします。
また、**雨が降り止んでからも水位上昇**が続くため、**すぐに河川へ近づかない**ようお願いします。

■令和5年8月1日の例



■令和元年台風第19号の例



大雨や台風時には、道路の通行止めや道路の冠水などにご注意ください

- **大雨や強風、高波により災害発生の恐れがある場合は、通行止めになる可能性があります。**
- **アンダーパス構造の箇所や低い土地の箇所では、道路が冠水し、通行できない可能性があります。**
- **最新の気象情報及び道路情報等に注意し、十分な時間的余裕を持って行動いただくようお願いします。**

【高速道路会社】

◇東日本高速道路株式会社　https://www.e-nexco.co.jp/
◇中日本高速道路株式会社　https://www.c-nexco.co.jp/
◇西日本高速道路株式会社　https://www.w-nexco.co.jp/
◇首都高速道路株式会社　https://www.shutoko.jp/
◇阪神高速道路株式会社　https://www.hanshin-exp.co.jp/drivers/
◇本州四国連絡高速道路株式会社
https://www.jb-honshi.co.jp/customer_index/

【国土交通省　地方整備局】

◇北海道開発局　https://www.hkd.mlit.go.jp/
◇東北地方整備局　https://www.thr.mlit.go.jp/
◇関東地方整備局　https://www.ktr.mlit.go.jp/
◇北陸地方整備局　https://www.hrr.mlit.go.jp/
◇中部地方整備局　https://www.cbr.mlit.go.jp/
◇近畿地方整備局　https://www.kkr.mlit.go.jp/
◇中国地方整備局　https://www.cgr.mlit.go.jp/
◇四国地方整備局　https://www.skr.mlit.go.jp/
◇九州地方整備局　https://www.qsr.mlit.go.jp/
◇沖縄総合事務局　https://www.ogb.go.jp/kaiken

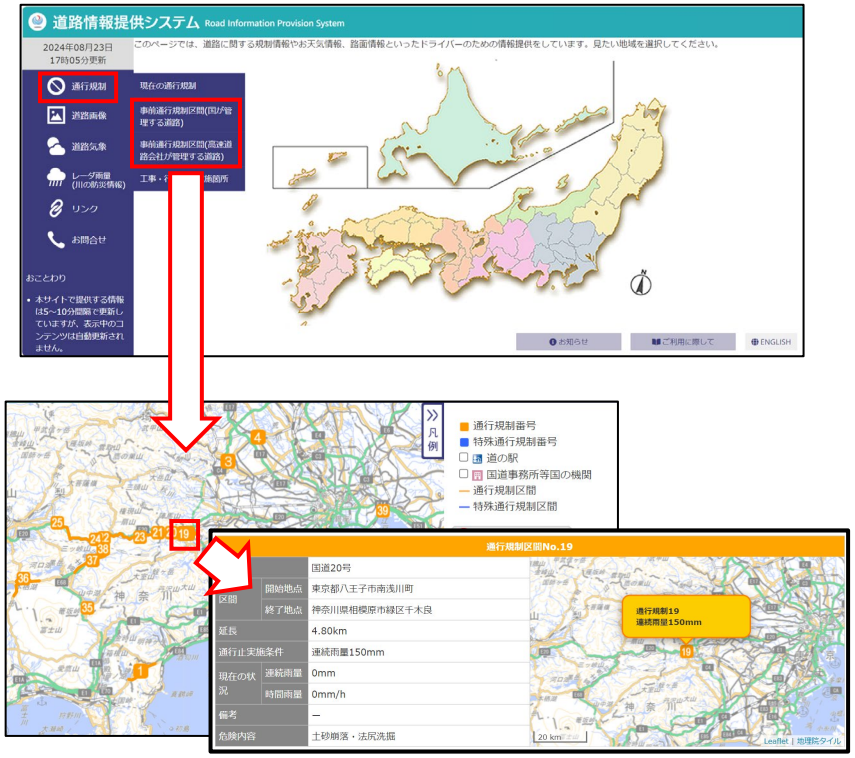
【その他の道路情報サイト】

◇日本道路交通情報センター　https://www.jartic.or.jp/

（参考）事前通行規制区間

大雨や台風による土砂崩れや落石等の恐れがある箇所については、過去の記録などを元にそれぞれ規制の基準等を定め、災害が発生する前に「通行止」などの規制を行います。規制基準が定められている区間は以下のホームページで確認できます。

道路情報提供システム
https://www.road-info-prvs.mlit.go.jp/roadinfo/pc/



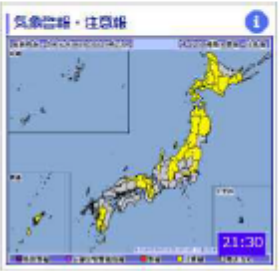
国土交通省ウェブサイト（川の防災情報）

川の防災情報　“気象”×”水害・土砂災害”情報マルチモニタ等で情報を把握する

気象情報、水害・土砂災害情報および災害発生情報等をパソコンやスマートフォンで一覧閲覧が可能。

地域選択が可能
- 全国
- 北海道
- 東北
- 関東
- 北陸
- 中部
- 近畿
- 中国
- 四国
- 九州
- 沖縄

リアルタイムのレーダ雨量の状況



気象警報・注意報の発表状況

リアルタイムの川の画像

リアルタイムの川の水位

浸水の危険性が高まっている河川

洪水予報の発表地域

放流しているダムの状況

洪水警報の危険度分布状況

土砂災害の危険度分布状況

二次元コード

パソコン、スマートフォン：
https://www.river.go.jp/portal/